

# 年間特集

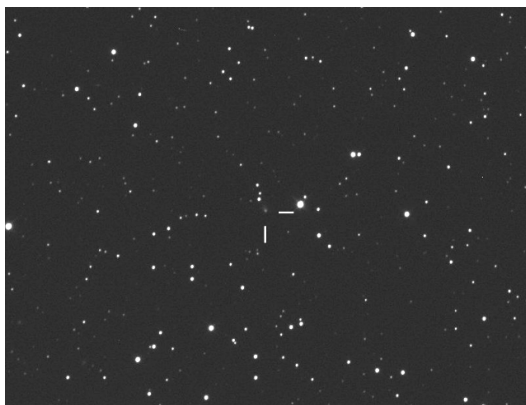
## 秋を彩った彗星の観測報告

### ～各地のカメラから～

この秋はアイソン彗星（C/2012 S1）を始め、ラブジョイ彗星（C/2013 R1）、リニア彗星（C/2012 X1）など、多くの彗星が夜明け前の夜空を賑やかさせてくれました。会員から寄せられた彗星画像や想いを紹介します。

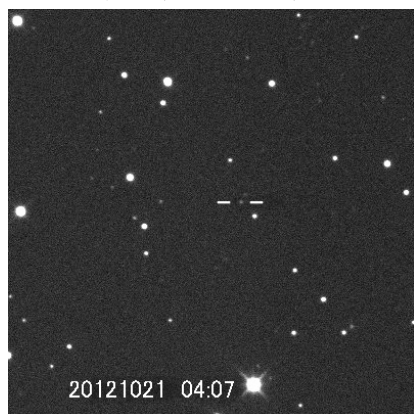
中山 健二さん（熊本市立健軍小学校）からの報告

〈共通撮影データ 鏡筒：e250C 赤道儀：タカハシJP CCD:ML8300(-40 冷却)〉

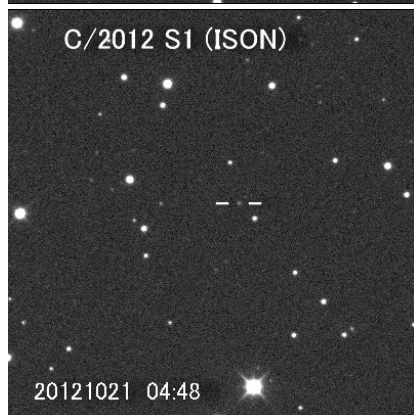


2013年2月11日 02:12 露出120秒

アイソン彗星（C/2012 S1）



20121021 04:07



C/2012 S1 (ISON)

20121021 04:48



2013年10月26日 04:11 露出120秒

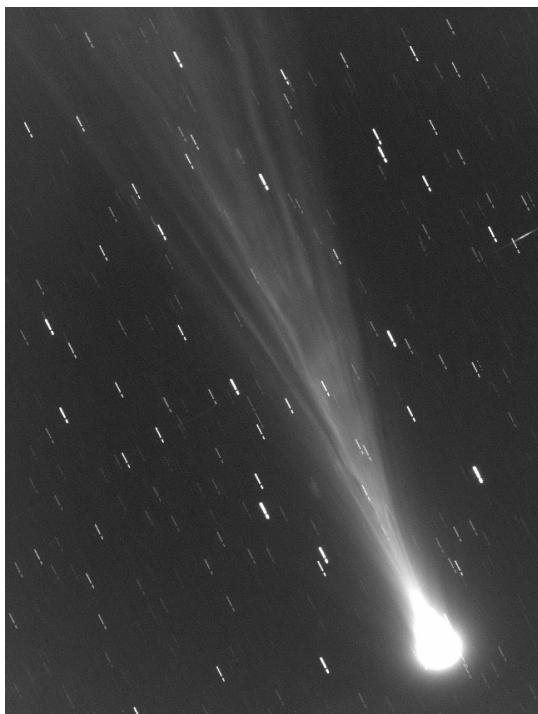
「アイソン彗星を追いかけていました。次第に大きくなっていく姿を撮影するたびに太陽面通過後の姿を思い楽しみにしていました。しかし、あの悲劇。しばらくアイソン彗星ロスに陥りました。

NHK 番組での『愛（アイ）の次は LOVE です。』という渡部さんの言葉を聞いて『そうだ』と元気になりました。

2014 年はアイソン彗星を超える彗星の年になること期待しています。」

2012年10月21日 04:07～04:48

露出120秒 光度17.4等 約40分間の移動



2013年11月16日 05:34~05:42  
露出 60秒×8枚合成

#### 福澄孝博さん（姫路科学館）からのメッセージ

「2012年末には、世間とまでは言わずとも、天文業界で話題になっていたアイソン彗星、私も熱い思いで待ち望んだ1人である。でも、他の方がたとは少し違っていたのかもしれない。

なにせ、多くの方に天文情報を発信する立場(当時は加古川市立少年自然の家所属)になって初めての「大きな彗星」だ、多くの子ども達、そして、市民の皆さんに楽しんでもらいたいと考えた。特に心を砕いたのが「彗星が見られる時間帯」。単に「明け方」と伝えると薄明の始まった空、どうかすると日の出前後に見ようとする方が居られるやも知れぬ。あるいは、天文に詳しくない先生が「いつもよりちょっと早起きすると凄いものが見られるよ」と子ども達に伝えてしまっは大変だ。

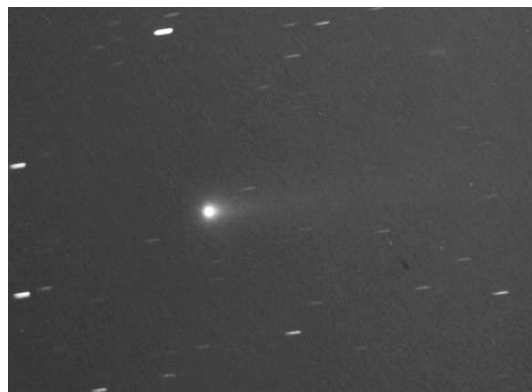
『夜の暗いうちに、見つけよう』と、彗星が昇ってくる時間帯を広報するよう心がけた。

残念ながら、昨年12月以降、この情報が役立てられることは無かったが、これからも『子ども達の目線に立った情報発信』を心がけて続けていこう、と思いを新たにす今日この頃である。」

#### 谷川 智康さん（兵庫県立三田祥雲館高校 天文部）からの報告

〈撮影データ 鏡筒:ピクセン R200SS  
20cm(F4) CCD:SBIG-ST9(Rバンド)〉

#### ■アイソン彗星 (C/2012 S1)



2013年11月14日 05:30~05:35  
露出 1分×5枚合成

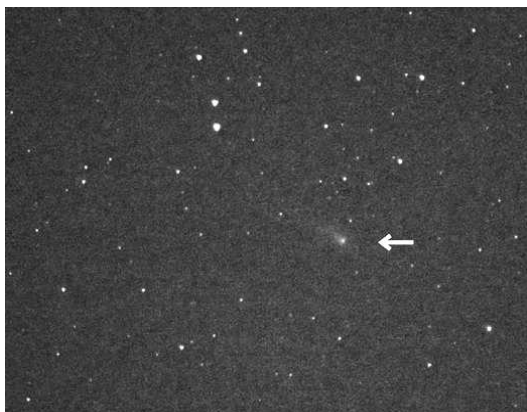
「三田祥雲館高校天文部では2013年1月に初撮像以来、アイソン彗星を楽しんで追いかけてきました。

大彗星にはなりませんでしたが、生徒たちの心には大きく残る彗星になったと思います。11月末には朝方に観望会を開き、近隣の子供たちにもアイソン、ラブジョイ両彗星を観望してもらいました。

パンスターズ、アイソン、ラブジョイ彗星 etc、本当にいい年だったと思います。」

工藤 剛さん（黒石すばるの会）からの報告  
 〈共通撮影データ キヤノン EOS kiss X5  
 望遠 250mm〉

■アイソン彗星 (C/2012 S1)



2013年11月02日03:09

ISO3200 15秒×5枚合成

「肉眼では無理だったので、探し出すのが大変でした。夜明けとの勝負でしたが、青森は雲が多く待つ時間の方が長かったかも。近日点を過ぎてからの勇姿を楽しみにしながら撮った一枚でした。」



2013年11月06日04:22

ISO800 露出194秒

「数少ない晴れた日でしたが、場所の特定で相当手間取りました。隣の星はおそらく 8.4 等だと思います。」

■ラブジョイ彗星 (C/2013 R1)



2013年12月04日05:10

ISO3200 露出30秒

「天気も悪かったが、アイソン彗星の消滅のショックで切り替えが遅れ正式な対面がこの日でした。双眼鏡で確認でき、うれしかった。春のパンスタースといい、アイソンといいデジカメがなければ確認できない今年の彗星たちでしたが、ラブジョイ君が私の2013年にやっとひとつ花を咲かせてくれたように思えた1枚です。」

沼田 博邦さん（北茨城星の会）からの報告

〈基本撮影データ 鏡筒：ビクセン ED102SS デジタル一眼カメラと直焦点接続〉

「2013年後半には、C/2012S1（アイソン彗星）、C/2013R1（ラブジョイ彗星）、2P（エンケ彗星）、大バーストしたというC/2012X1（リニア彗星）が観測できるとのことだったが、11月上旬までは、仕事の都合、天候に恵まれず、11/12から観測を開始した。」

■アイソン彗星 (C/2012 S1)



2013年11月12日 03:34

EOS KISS X5 露出2分×5枚合成

「11/12は、太陽接近まで20日もないというのにコマも小さく、テールもそれほど長くなかった。」



2013年11月14日 04:22

EOS KISS X4 露出2分×5枚合成

「11/14は、カメラを変えてみた。2日前とそんなに変わらなかった。」



2013年11月16日 04:38

EOS KISS X4 露出2分×10枚合成

「11/16は、急にコマが大きくなり、テールも太く、長くなった。蒸発しなければ大彗星の予感がした。」



2013年11月17日 04:38

EOS KISS X4 露出2分×3枚合成

「11/17は、枚数がとれなかったため、昨日ほどには見えなかった。」



2013年11月20日 05:00

EOS KISS X5+250mm 望遠レンズ露出2分



2013年11月20日 05:00

EOS KISS X4 露出2分×2枚合成

「11/20は、さらに低空になり、高台に遠征した。準備に戸惑い、薄明かりも始まり、思うように撮影できなかった。普通のカメラの一発撮りの方がよく撮れた。」



2013年11月23日 05:17

EOS KISS X5+250mm 望遠レンズ露出1分

「こちらの方が絵になって、仲間内でのうけはよかった。」

アイソン彗星は以上。アイソン彗星は、残念ながら蒸発して小さくなってしまったとのことなので、そのかけらを12/5から探しているが、いまだに見つからず状態。一方、11月上旬には肉眼で見ていたラブジョイ彗星の方が実は大きいのではと思いどころかというところらに興味を注いでいた。」



2013年11月23日 05:04

EOS KISS X4 ED102SS 直焦点 露出1分

「11/23は、近日点通過までこれが最後の観測かと、再度、高台まで遠征。撮影するも、低空で、まわりの木の枝が邪魔になり思うようにいかなかった。」

#### ■ラブジョイ彗星 (C/2013 R1)



2013年11月12日 02:39

EOS KISS X4 ED102SS 直焦点 露出2分

「11/12 は、しし座付近にあり、高度も 30 度を超えていたので、非常に撮りやすかった。」



2013 年 11 月 16 日 03:00

EOS KISS X4 露出 2 分 × 8 枚合成

「11/16 の様子。テールが長くなり始めた。」



2013 年 11 月 23 日 04:17

EOS KISS X5+250mm 望遠レンズ

露出 2 分 × 5 枚合成



2013 年 11 月 23 日 04:28

EOS KISS X4

ED102SS 直焦点 露出 2 分 × 10 枚合成

「11/23 は、コマが大きくなり、テールもかなり長くなった。望遠レンズで撮った方が、テールが長く見えています。」



2013 年 12 月 1 日 03:40

EOS KISS X4

ED102SS 直焦点 露出 2 分 × 10 枚合成

「12/1 の様子。コマも大きく、テールがかなり太く、かなり長くなり、写真をはみ出しました。」



2013 年 12 月 5 日 05:04

EOS KISS X5

ED102SS 直焦点 露出 2 分 × 10 枚合成

「12/5 の様子。長いテールがまがったような感じ。」



2013年12月9日 05:00

EOS KISS X5

ED102SS 直焦点 露出 2分×10枚合成

「12/9の様子。ますますテールがはっきりと、長くなりました。」



2013年12月15日 04:56

EOS KISS X5

ED102SS 直焦点 露出 2分×4枚合成

「12/15の様子。ふたご座流星群とニアミスしないか期待しながら撮りました。」

以上がラブジョイ彗星。やはり、こちらの方が、大きくて、撮りがいがありました。(12月) 現在、かなり低空で、家からは撮るのが困難になったため、これからはアイソン彗星を撮った場所に遠征です。今度は、小枝に邪魔されないよう、注意したいと思います。」



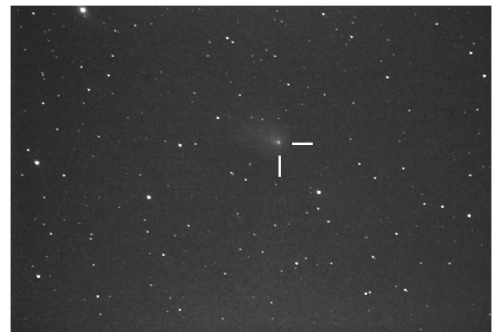
2013年12月11日 04:11

EOS KISS X5

ED102SS 直焦点 露出 2分×12枚合成

「12/11の様子。勢いは12/9と変わらない感じですが。低空で撮ったせいか、テールの色が今一つはっきりしません。」

■ リニア彗星 (C/2012 X1)



2013年11月12日 04:35

EOS KISS X5

ED102SS 直焦点 露出 2分×4枚合成

「14等星から7等星に大バーストしたというので、狙ってみました。とても暗いですが、白っぽいのが見えましたのでラッキーでした。」

現在 8 等星を超えており、全く捕まえられませんが、この時は 7 等星ジャストぐらいだったので撮れたと思います。」

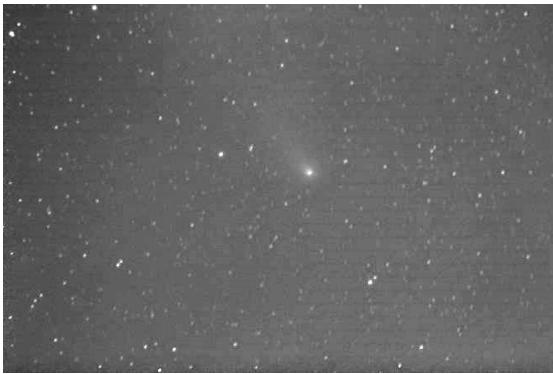


2013 年 11 月 14 日 04:58

EOS KISS X5

ED102SS 直焦点 露出 2 分×4 枚合成  
「カメラを替えたのでちょっとピンボケですが、ご愛嬌で。尚、この後、暗くなったようで、狙っても入らなくなってしまいました。」

■ネフスキー彗星 (C/2013 V3)



2013 年 12 月 1 日 04:30

EOS KISS X5

ED102SS 直焦点 露出 2 分×5 枚合成  
「10 等星ですが彗星色はエメラルドグリーンなので捕まえられるかとも思いつつ狙いました。本当に暗いです。よく入ったなという感じです。」

この後、何回か狙いましたが、入りませんでした。高度が高いところにあるので、リベ

ンジしたいと思います。

2013 年は、彗星が多かった。人生で、こんなに多く撮ったのは初めてです。1 月リニア彗星、3 月からパンスターズ彗星、レモン彗星、11 月から、アイソン彗星、ラブジョイ彗星、リニア彗星、ネフスキー彗星と、7 個も撮れました。11 月は、どの彗星を撮ろうか、あっちを撮ったり、こっちを撮ったりと大忙しで、うれしい悲鳴をあげていました。エンケ彗星が撮れなかったのが心残り、アイソン彗星が蒸発してしまったのが本当に残念です。今後、アイソン彗星なみの大彗星が北半球で現れることを期待して終わりにします。」

高村 裕三朗さん (愛知県立一宮高校) からの報告

■パンスターズ彗星 (C/2011 L4)



2013 年 4 月 20 日 02:50~03:50

MT-160 レデューサ+EOSX6i(IR 改)

ISO6400 露出 1 分~2 分×16 枚合成

撮影地 ひるがの高原

「いまさらですが、パンスターズ彗星も投稿します。扇形の尾が興味深いです。」



■ラブジョイ彗星 (C/2013 R1)



2013年12月4日 04:30~05:15  
 BORG77ED+0.85 レデューサ+EOS X6i(IR 改  
 ISO6400 露出 1分×30枚合成  
 撮影地 揖斐高原  
 「薄雲の通過とガイドエラーを除いて合成した  
 ので、星は見づらいですがコマ付近と尾は  
 強調できました。」

松本 直記さん (慶應義塾高校) からの報告

■アイソン彗星 (C/2012 S1)



2013年11月23日 05:31  
 タカハシ FS152+SBIG ST9XE

露出 RGLB 各 2 秒×3 枚計 12 枚合成

「地学研究会の校内合宿で生徒が撮影している  
 合間に撮ったものです。撮影地は横浜市港  
 北区です。太陽接近を前に、この日は標準レ  
 ンズの一眼カメラでも簡単に写り、肉眼でも  
 見えました。薄明に溶けていく姿を眺めなが  
 ら近日点明けまでしばらくのお別れだなど感  
 慨深く見送りました。」

小関 高明さん (姫路科学館) からの報告

■アイソン彗星 (C/2012 S1)



2013年11月23日 05:47  
 15cm 屈折+EOS 6D ISO800 露出 8 秒  
 撮影地 姫路市青山

「2013 年はアンチテイルが良く見えたパン  
 スターズ彗星やエンケ彗星、ラブジョイ彗星  
 など多くの彗星の写真を撮りました。アイソ  
 ン彗星は明るくなることを期待して、ε160 の  
 補正レンズをバージョンアップしたほか、尾  
 の偏光写真やスペクトルの撮影を準備して待  
 っていましたが、この写真を最後に私の視野  
 から消えてしまいました。残念！」

各写真は印刷上トリミングやコントラ  
 ストを・明るさ調整等を施しています。